

合否判定の方法及び基準

対象入試制度

令和7年度 総合型選抜入学試験

【総合型選抜A（グローバルキャリア志向型）】【総合型選抜B（ビジネス・データサイエンス志向型）】

1. 試験内容

(1) 第1次審査「書類選考」

提出された資格試験のスコアや証明書、コンテスト等での受賞経験、志望理由書、調査書の内容をもとに、経済学部で定める基準に従って、総合的に評価した。本入試制度の趣旨を考慮し、特に資格試験や受賞経験を重視して選考を行った。

(2) 第2次審査「小論文（経済学に関するもの）」「口頭試問」

60分の小論文では、経済に関する2つのテーマについて、自身の意見を求めた。

今回の出題は、日々の経済ニュースに関心を持っていれば把握できるような内容に設定している。これは、単に教科書の内容を覚えているかではなく、普段から経済や社会に関心を持っているかを判断することを目的としている。

いずれも日々の経済ニュースに関心を持っていれば知りうるようなテーマを設定することで、教科書の内容を覚えるだけではなく、日ごろより経済や社会に対して関心をもっているかどうかを判断した。さらに、与えられたテーマに対して、自身の考えを整理し、論理的に記述する力があるかどうかとも評価の対象とした。

約15分の口頭試問では、最初に志望動機や高校時代に頑張ったことなどを、志望理由書をもとに確認した。その後、本学部で経済学を学ぶことと、自身の目標との関係性について、自分の言葉で説明してもらった。

2. 合否判定の方法と基準

第1次審査では、各提出書類の内容から、総合的に判断した。

第2次審査では、第1次審査で提出された書類、小論文、口頭試問の内容から、総合的に判断した。本学部のアドミッションポリシーに沿って、次のような人物像に合致しているかどうかという点を中心に評価した。

- ・人間・社会・経済に対する強い関心を持っているか
- ・日本語・外国語部の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有しているか

【総合型選抜C（起業志向型）】

1. 試験内容

(1) 第1次審査「書類選考」

提出された事業・活動計画に関するプレゼンテーション動画、志望理由書、調査書の内容をもとに、経済学部で定める基準に従って、総合的に評価した。本入試制度の趣旨を考慮し、特にプレゼンテー

ション動画の評価を重視して選考を行った。

(2) 第2次審査「プレゼンテーション」「口頭試問」

選考委員（試験監督）の前で5分間の事業・活動計画に関するプレゼンテーションを行ってもらい、その後、プレゼンテーション内容に関する質疑応答を実施した。プレゼンテーションでは、次の観点から評価をおこなった。起業により解決したい課題（Problem）、解決策となる製品やサービス（Solution）、競合優位性（Competitive Advantages）、顧客（Customer）、ターゲット市場（Target Market）、ビジネスモデル（Business Model）、収支計画（Financial Plan）、メンバー（Member）、近畿大学での時間や環境をどのように活用したいか（Passion）

口頭試問では、本学部で経済学を学ぶことと、自身の目標との関係性について、自分の言葉で説明してもらった。

2. 合否判定の方法と基準

第1次審査では、提出書類とプレゼンテーションの内容から、総合的に判断した。

第2次審査では、第1次審査で提出された書類、プレゼンテーション、口頭試問の内容から、総合的に判断した。

本学部のアドミッションポリシーに沿って、次のような人物像に合致しているかどうかという点を中心に評価した。

- ・人間・社会・経済に対する強い関心を持っているか
- ・日本語・外国語部の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有しているか